

病院・施設専用クルマイス **ウィーリィ**  
【メディカル仕様】

取扱説明書



目次

|              |   |   |   |   |   |     |
|--------------|---|---|---|---|---|-----|
| ○フィッティング方法   | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P1  |
| ○調整方法        | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P2  |
| ○使用方法        | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P3  |
| ○移乗方法        | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P9  |
| ○運搬・保管方法     | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P11 |
| ○廃棄方法        | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P11 |
| ○お手入れ方法      | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P11 |
| ○点検項目        | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P12 |
| ○このようなときには   | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P13 |
| ○注意事項        | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P14 |
| ○各部名称および梱包内容 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P18 |
| ○仕様          | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | P19 |

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、看護師・福祉用具専門相談員などの専門の方に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⊘：してはいけない「禁止」を意味します。

⚡：必ず実行していただく「強制」を意味します。

# フィッティング方法

ウィーリィ【メディカル仕様】は病院・施設専用の屋内向けクルマイスです。



## 警告

- ①クルマイスのセッティングは、必ず医療従事者と相談の上、行ってください。
- ②最大利用者体重を守ってください。  
最大利用者体重は100kgです。

【Tタイプ・Tタイプ低床】



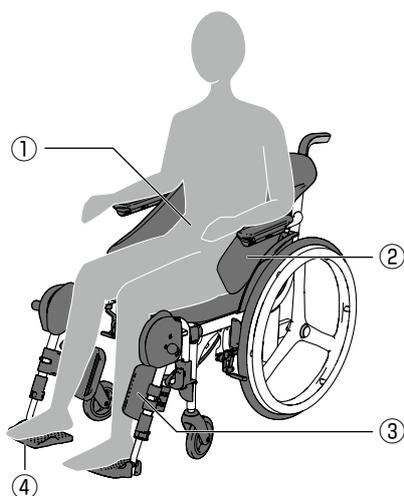
【FRタイプ】



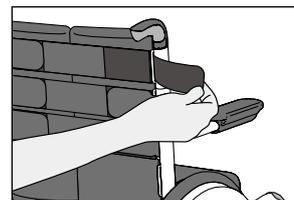
【SEタイプ】



| 身体状況     |               | Tタイプ・Tタイプ低床 | FRタイプ | SEタイプ |
|----------|---------------|-------------|-------|-------|
| 円背       | バックサポート張り調整   | ○           | ○     | ○     |
| 体幹保持できない | 左右姿勢保持        |             |       | ○     |
|          | フットサポート長さ調整   | ○           | ○     | ○     |
| 足こぎ      | フットサポート部の取り外し |             | ○     | ○     |
| 拘縮       | フットサポート角度調整   |             |       | ○     |

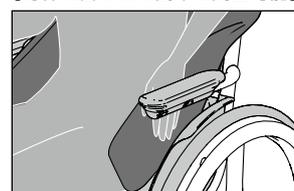


①バックサポートの張りを調整(P2参照)し、奥までしっかり座ります。

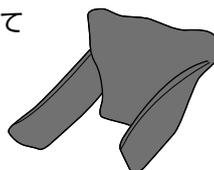


②【SEタイプ】姿勢保持できなく、左右にすき間がある場合は、姿勢保持クッションで体に合わせ調整してください。

【身体に合わせて簡単に調整可能】

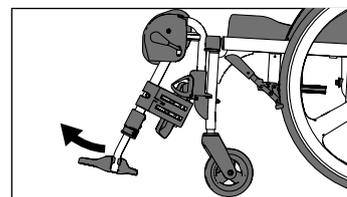


背中・骨盤・身体側面を支える姿勢保持用のクッション

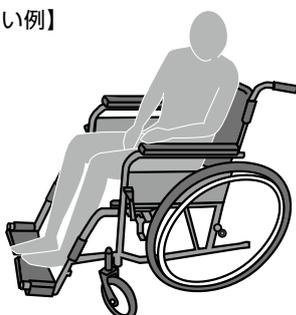


③【SEタイプ】下肢拘縮がある場合は、フットサポート部の角度調整でふくらはぎの隙間を埋めてください。(3P参照)

※フットサポートの高さ調整レバーはフリーにしておいてください。



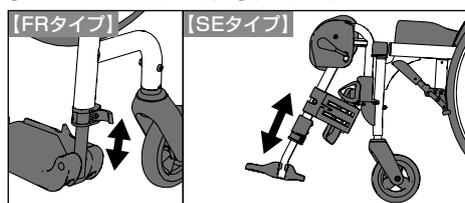
## 【悪い例】



- ・奥まで座れていません。(仙骨座り)
- ・体幹がかたむいています。
- ・ふくらはぎがフレームに当たっています。
- ・足裏がフットサポートから外れています。

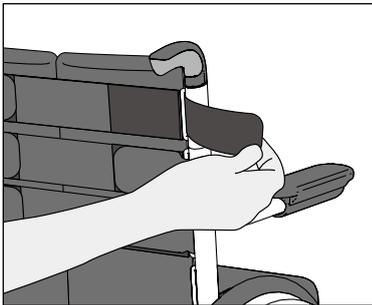
④足の裏をしっかり支えてください。

【フットサポートの長さ調整】(P2参照)



※【FRタイプ】【SEタイプ】フットサポートが不要な場合は、フットサポートをはね上げるか、フットサポート部を取り外してください。

## 1 バックサポートの張り調節



バックサポートの張りを随時チェックしてください。必要に応じて調節できます。

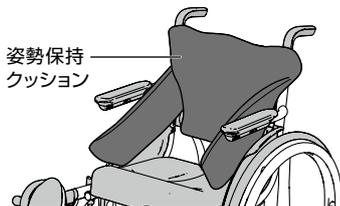
- ① 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
  - ② 面ファスナーをはがし、バックサポートの張りを調節した後、もう一度面ファスナーをしっかりと貼り合わせます。
- ※手でバックサポートを押し、確実に固定されていて、張りが適切であることを確認してください。



**注意**

面ファスナーに糸くずや汚れなどがついた場合は、接着が弱くなりますので、取り除いてください。

### 【SEタイプ】の調整

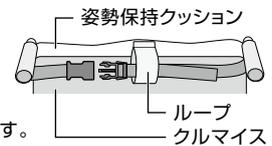


姿勢保持  
クッション

### クルマイスのバックサポート部に姿勢保持クッションを装着

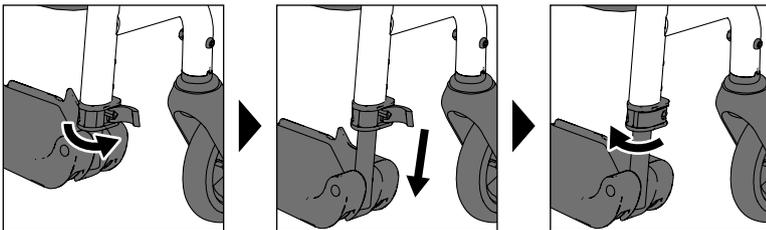
- ① ベルトをループに通し、バックルを止めます。  
ベルトを引っ張りしっかりと固定します。
- ② 姿勢保持クッションを使い座位を整えます。

※姿勢保持クッションは利用者体型に応じて取り外しても使用できます。



姿勢保持クッション  
ループ  
クルマイス

## 2 フットサポート調整方法

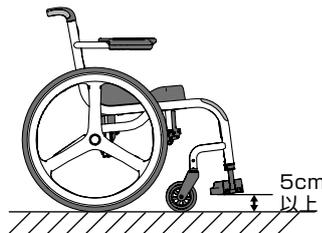


- ① レバーを回転させ、ロックを解除します。
- ② 高さを上下に調整します。
- ③ 高さを決め、レバーを元の位置に戻します。
- ④ フットサポートのレバーを固定してもフットサポートが固定できない場合は、六角レンチ4でレバー固定ボルトを締め付け調整してください。



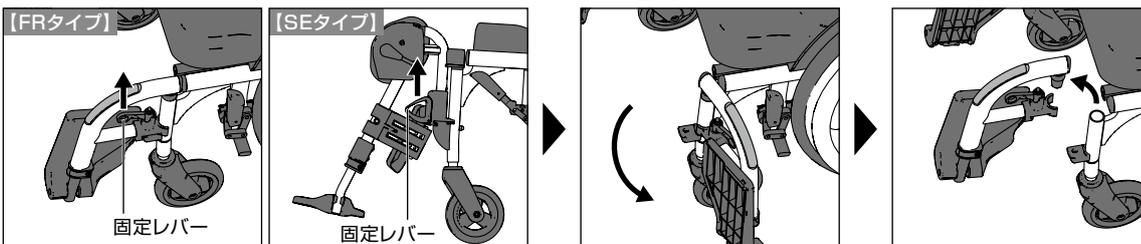
**警告**

フットサポートの高さは地面より5cm以上で使用してください。路面の凹凸や障害物にフットサポートが引っ掛かり、急にクルマイスが止まり、転倒事故の原因になります。



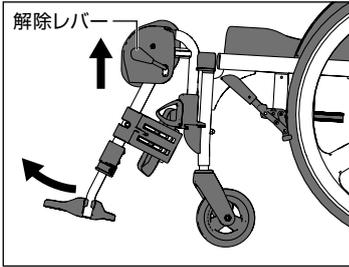
### 【FRタイプ】【SEタイプ】の場合

フットサポート部が回転し、取り外すことができます。



- ① 固定レバーを引き上げ、ロックを解除します。
- ② フットサポート部を外側へ回転させます。
- ③ 上に引き抜くと取り外せます。

## 【SEタイプ】の調整



### フットサポート部(角度調整式)の角度調整

- ①フットサポート部は下から上に調整します。  
※下方方向にはロックが掛かり下がりにません。
- ②解除レバーを引き、フットサポート部を少し上向に上げるとロックが解除され、サポートが下がります。  
※この操作はフットサポート部を介助者が支えてゆっくり操作してください。  
※利用者様本人での操作はしないでください。  
※急にフットサポート部が下がり怪我をしないように注意してください。

# 使用方法

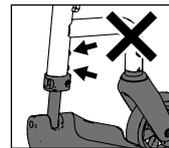
安全に使用していただくため、使用前に以下の確認をしてください。

- タイヤの摩耗・亀裂はないか
- ブレーキに異常はないか
- ブレーキをロックしたとき、駆動輪・主輪が回転しないか
- 点検表を参照してください

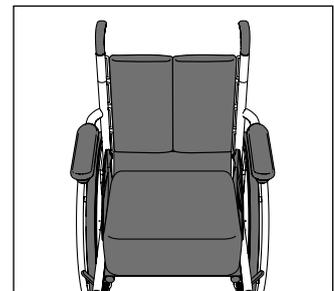
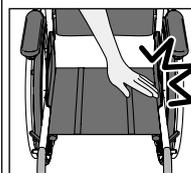
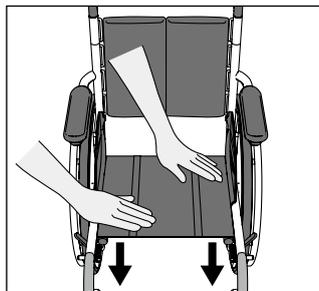
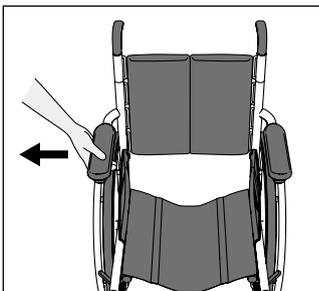


**注意**

右図のフットサポート部にある矢印のボルトは調整しないでください。



## 1 クルマイスの広げ方



- ①アームサポートを持って広げます。
- ②シートの両脇を上からしっかりと押し下げます。  
※シートとサイドガードの間に手をはさまないよう、気をつけてください。
- ③クッションをシートに取り付けます。  
クッションには向きがあります。  
※クッションうら面に表示があります。

【クッションHard使用時の向き】

後側

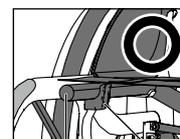


前側



**注意**

- ①クルマイスを広げるときに、座パイプの横や下に、手や指を入れないでください。  
パイプに手や指をはさんでケガをするおそれがあります。
- ②クルマイスを広げた場合は、座パイプが受けに収まっているか、確認して座ってください。  
パイプが曲がったりしていると、転落事故および故障の原因になります。



座パイプ

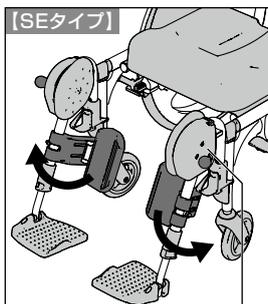
受け



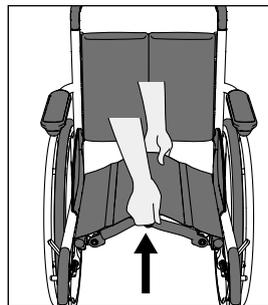
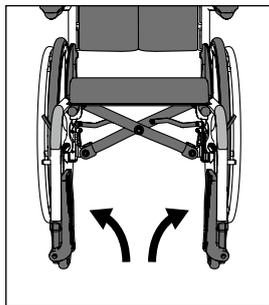
座パイプ

受け

## 2 クルマイスの折りたたみ方



解除レバー



- ①【SEタイプ】フットサポート部角度は解除レバーを引いて一番低くします。フットサポートパッドを折りたたみ、クルマイスの外側に回転させます。
- ②クッションを取り外します。
- ③フットサポートを上に乗ね上げます。
- ④座面を持って引き上げると折りたためます。



### 注意

クルマイスを折りたたむ場合は、必ずフットサポートを跳ね上げて行ってください。フットサポートが降りたままだと、きれいにたたまらず、自然と広がってしまいます。

## 3 乗る・降りる

### クルマイスに乗る場合



### 警告

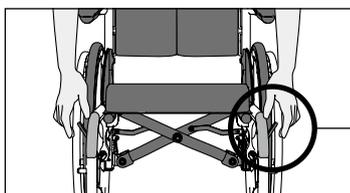
クルマイスに乗る／降りるおよび各部の調整設定は、両輪側とも駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキをかけて、平坦な場所で行ってください。



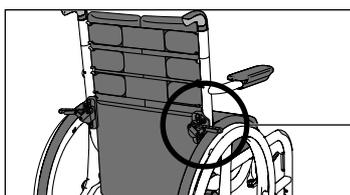
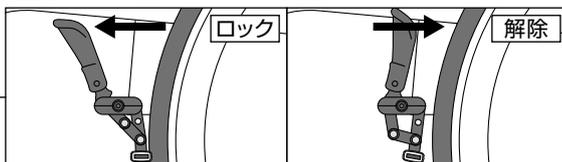
### 注意

クルマイス各部の調整、設定が可能です。設定の組み合わせにより部品が干渉する場合があります。確認して調整してください。

- ①駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキを両輪側ともロックします。



### 【駐車ブレーキ】



### 【立位駐車ブレーキ】



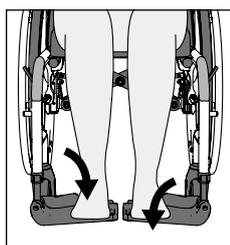
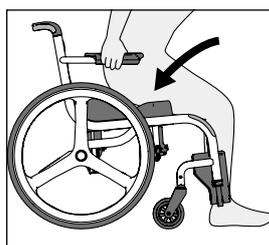
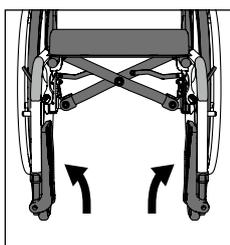
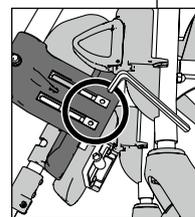
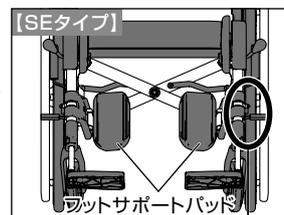
※立位駐車ブレーキの操作は、ブレーキ先端部分(丸部)で操作してください。挟み込みに注意してください。

- ②【SEタイプ】フットサポートパッドをセットします。

※必ずフットサポートパッドはセットしてください。折りたたんだ状態で使用するとケガをする可能性があります。

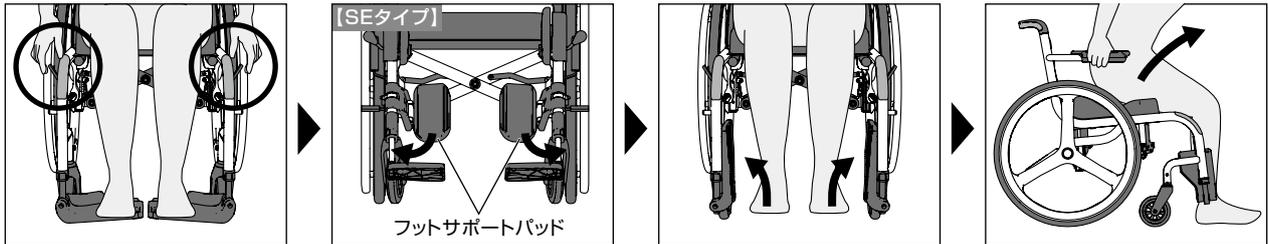
そのほかの仕様ではフットサポートベルトを使用します。

※フットサポートパッドの前後調整は必要に応じて六角レンチ4で調整可能です。(右図参照)



- ③フットサポートを両側とも跳ね上げます。
- ④両手でアームサポートを持ち、ゆっくり座り込みます。
- ⑤フットサポートを下ろし、足を乗せます。  
※フットサポートの高さ調整はP2、P3を参照してください。

## クルマイスから降りる場合



- ① 駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキを両輪側ともロックします。
- ② 【SEタイプ】フットサポートパッドを折りたたみます。  
※利用者様の脚部に当たらないよう、十分注意して折りたたんでください。
- ③ フットサポートを両側とも跳ね上げます。
- ④ 両手でアームサポートを持ち、ゆっくり立ち上がります。

## 【FRタイプ】【SEタイプ】の場合

利用者様が乗り降り／移乗されるときにフットサポート部が邪魔になる場合は、フットサポート部のロックを解除してサポート本体を取り外してください。(P2、P3参照)

※取り外しは介助者が行ってください。

また、フットサポートパッドを折りたたみ、フットサポートを跳ね上げて使用する場合も、介助者が操作し、利用者様の脚部を挟んだり、当たらないよう十分注意し、操作してください。



### 警告

- ① フットサポートの上に乗って、立ち上がったり乗り込んだりしないでください。  
クルマイスがバランスを崩し、転倒事故の原因になります。
- ② 乗り降りする場合は、ゆっくり行ってください。  
急に乗り降りすると、ケガをするおそれがあります。
- ③ 乗り降りする場合は、駐車ブレーキおよび立位駐車ブレーキのレバーに体重をかけないでください。  
レバーが破損・変形し、転倒するおそれがあります。
- ④ 乗り降りする場合は、上げたフットサポートに足が当たらないよう注意してください。  
ケガをするおそれがあります。
- ⑤ クルマイスへの乗降時および、ベッドへの移乗時などは、駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキを両輪側ともロックしてください。  
クルマイスが動き、転倒事故の原因になります。



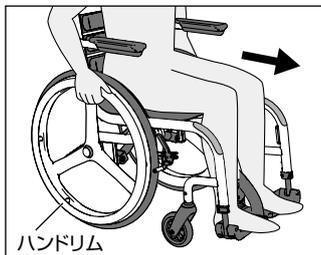
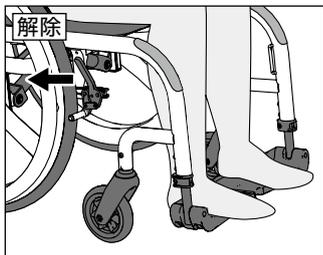
### 注意

- ① フットサポートを足で上げる場合は、素足で行わないでください。  
ケガをするおそれがあります。
- ② 乗り降りや駐車は平坦な場所で行ってください。  
クルマイスが動いたりしてバランスを崩し、転倒・転落事故の原因になります。
- ③ 【SEタイプ】乗り降りする場合は、必ずフットサポート部の角度を一番低くしてフットサポートを跳ね上げ、フットサポートパッドを折りたたみ、利用者様の脚部に当たらないよう十分注意し、操作してください。
- ④ 【FRタイプ】【SEタイプ】フットサポート部取り外しの際は介助者が行き、利用者様の足部に当たらないよう十分注意し、操作してください。

## 4 動かし方

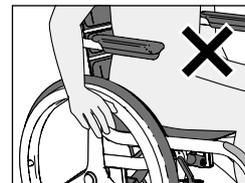
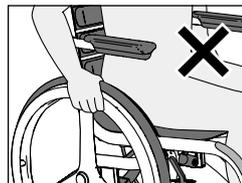
### 自走用として使用する場合の一般的な動かし方

① 駐車ブレーキおよび立位駐車ブレーキを両輪側とも解除します。



② ハンドリムを握り、主輪を回転させて移動します。

※タイヤおよびホイールを握らないでください。



### 警告

- ① 走行スピードは利用者様および介助者がコントロールできる速度で走行してください。
- ② 駐車ブレーキおよび立位駐車ブレーキで減速しないでください。  
減速はハンドリムで行ってください。ただし、スピードが出すぎている場合は、摩擦でケガをするおそれがあります。
- ③ 走行中、体を乗り出さないでください。  
バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因になります。



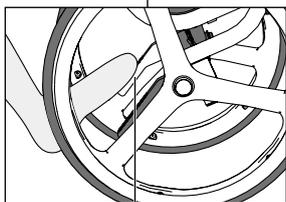
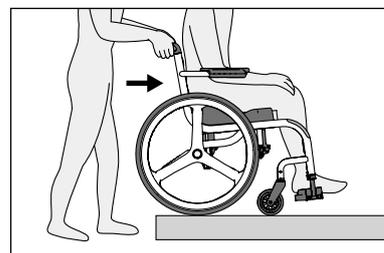
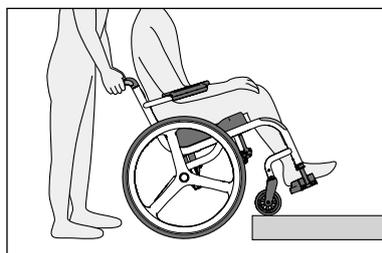
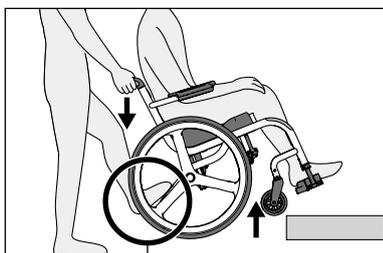
### 注意

- ① タイヤを持ってクルマイス进行操作しないでください。  
ブレーキに手が当たったり、摩擦でケガをするおそれがあります。
- ② 主輪に、体の一部や物を差し込まないでください。  
手や指をはさんで、ケガをするおそれがあります。
- ③ バックしながら急停止しないでください。  
転落事故の原因になります。
- ④ フットサポートの下には足を入れないでください。  
足を地面でこすったり、フットサポートやキャストなどに足をぶつけてケガをするおそれがあります。
- ⑤ 足こぎで操作する場合はフットサポートに足をぶつけたり、床などに足を取られないように注意してください。【FR、SEタイプ】の場合は、フットサポート部を取り外して使用してください。

## 5 介助の方法

次のような使用場所や環境では、危険が伴う場合がありますので、必ず介助者が付き添ってください。  
介助者が付き添っていない場合は、周りの人に介助をお願いしてください。

- 傾斜している路面
- 段差乗り越え
- 乗り物への乗車・下車
- エレベーターの乗り降り



ティッピングレバー

介助者は、段差を乗り越える場合は、ティッピングレバーを踏みながらグリップを手前に引いてキャストを上げ、前輪を段差に乗せてから、乗り越えてください。



### 警告

スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。  
利用者様がクルマイスから転落し、事故の原因になります。



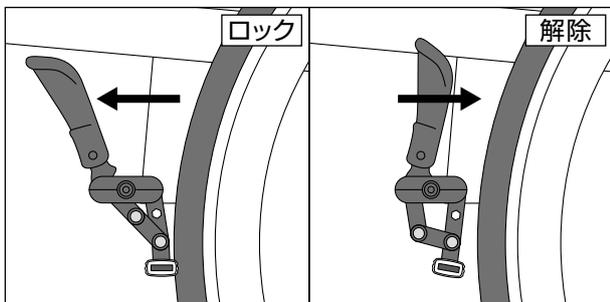
### 注意

グリップのみで、キャストを上げないでください。  
バックサポートパイプが曲がったり折れたりして転倒、事故の原因になります。

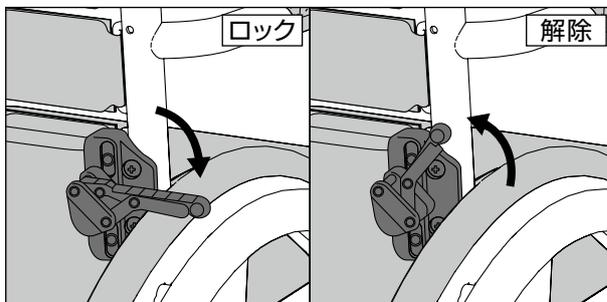
## 6 ブレーキの使用方法

駐車ブレーキの場合は、レバーを前方へ押すとロック、後方へ引くと解除します。  
立位駐車ブレーキの場合は、レバーを外側へ倒すとロック、内側へ起こすと解除します。

【駐車ブレーキ】



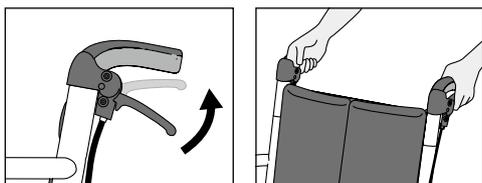
【立位駐車ブレーキ】



### 警告

クルマイスへの乗降時および、ベッドへの移乗時などは、必ず駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキを両輪側ともロックしてください。  
クルマイスが動き、転倒事故の原因になります。

### 介助ブレーキ付きを使用する場合



介助者が走行中に下り坂で使用することで、安全に速度減速および停止できます。

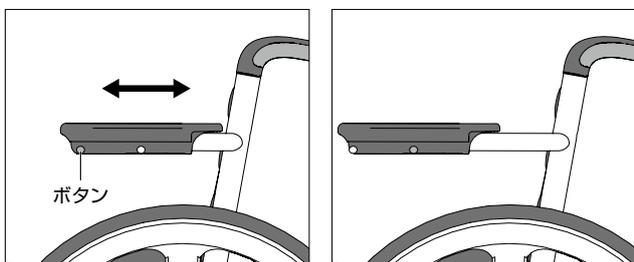
- ①レバーを握るとブレーキがかかります。
- ②レバーを離すと解除します。



### 注意

- ①急ブレーキをかけないでください。  
クルマイスに乗っている利用者が前方へ転倒し、ケガをするおそれがあります。
- ②介助者は、介助ブレーキレバーを両輪側同時にかけてください。  
片側だけでブレーキをかけると、バランスを崩して転倒し、ケガをするおそれがあります。

## 7 アームサポートのスライド【ボタン操作でのロック解除スライド方法】



アームサポートはスライド式です。  
移乗時や用途に応じてスライドさせて使用してください。  
アームサポートは乗車時には伸ばして使用してください。  
※スライド幅は8cmです。

ボタンを押してロックを解除し、カチッと音がするまでスライドさせてください。



### 注意

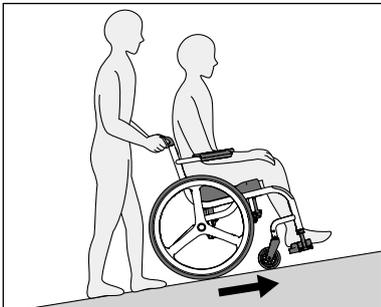
- ①アームサポートが固定されているか確認して使用してください。
- ②ボタンは軽く押さえるだけでロック解除できます。スライドさせる場合は、指をはさみ込まないよう注意してください。

## 8 使用時の注意

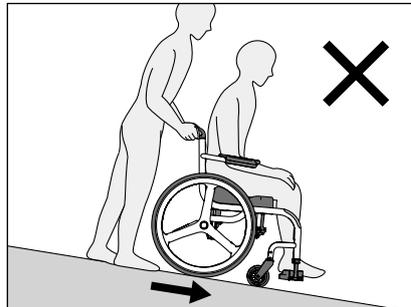
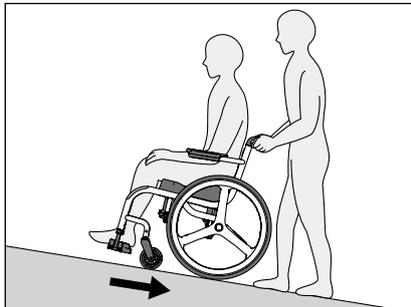
必ず介助者援助をお願いしてください。

坂道の登り下りで使用する場合は、必ず介助者が支えて行ってください。

【登り坂】

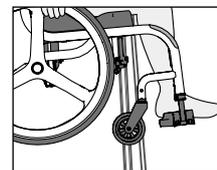
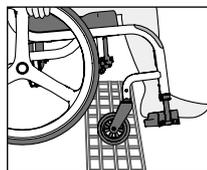


【下り坂】



### 警告

- ①側溝の格子蓋などで使用する場合は、必ず介助者が支えて行ってください。クルマイスが急に止まり、転倒事故の原因になります。
- ②急な坂道(勾配4度以上)では使用しないでください。



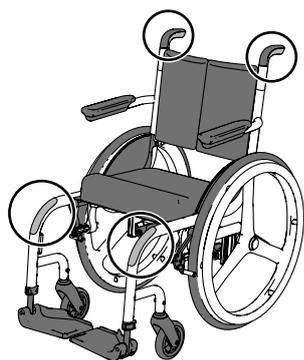
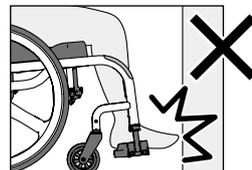
### 注意

- ①坂道を下るとき介助者は、クルマイスを後ろ向きでゆっくり確認しながら走行してください。前向きで下ると、乗っている人がすり落ちたり、前のめりとなり、転倒事故の原因になります。
- ②凸凹のある路面では、前かがみ姿勢で使用しないでください。バランスを崩し、前に転倒して事故の原因になります。
- ③側溝の格子蓋にキャストが落ち込まないように注意してください。クルマイスが急に止まり、利用者様の体が前方に傾き、転落・転倒事故の原因になります。

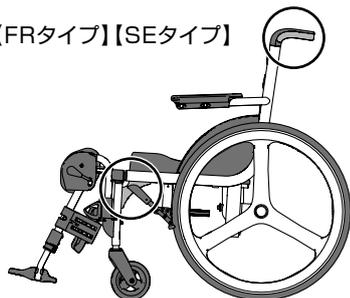


#### 【介助者の方へ】

- ①移動中に利用者様のつま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。
- ②フットサポートに利用者様の足が乗っているか確認して走行してください。



【FRタイプ】【SEタイプ】



クルマイスを持ち上げる場合は、駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキをかけて本体フレームを持ち、支えてください。また、フレームを持つ場合は、はさまれないよう注意してください。



### 警告

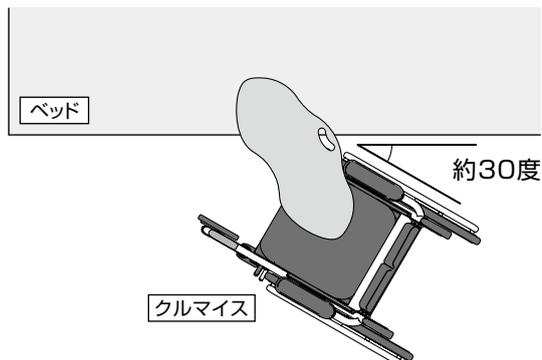
アームサポート・フットサポート・バックサポート・フットサポート部【FRタイプ】【SEタイプ】を持たないでください。これらの箇所を持ち上げると、アームサポートやフットサポートなどがクルマイスから外れるなど、大変危険です。3人以上で持ち上げる場合は、本体フレームとティッピングレバーを持ってしっかりと支えてください。また、利用者様の身体の一部を持たないでください。

# 移乗方法

## 1 トランスファーボード(付属品)の使用法

クルマイスとベッドの角度は30度ぐらいを目安にしてください。  
初めての使用では、利用者様へ説明の上、使用してください。

- ①【FRタイプ】【SEタイプ】の場合は、フットサポート部のロックを解除してサポート本体を取り外してください。  
※取り外しは介助者が行ってください。  
フットサポート部の取り外しの場合、利用者様の脚部に当たらないよう十分注意し、操作してください。  
【SEタイプ】の角度は下げて取り外してください。
- ②フットサポートを両方とも跳ね上げ、足元を動きやすくしてください。
- ③ベッド側のアームサポートを縮めてください。
- ④移乗先が低くなるように高さを調整してください。
- ⑤お尻が半分乗るまでボードを敷いてください。
- ⑥移乗先へ体を傾け、お尻を滑らせてください。
- ⑦移乗先へお尻が全て乗っているか確認ください。
- ⑧ボードを立てるようにして抜いてください。



使用方法の  
動画はこちら



**注意**

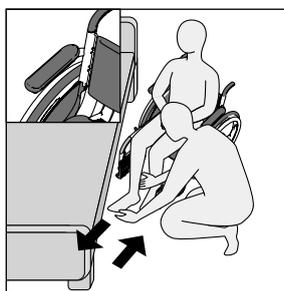
- ①使用前にひび割れなどの破損がないか点検してください。
- ②抜き差しのしやすい形状になっており、多少変形することがあります。変形が大きい場合は、手で慣らしてから使用してください。

## 2 ベッドへの移乗

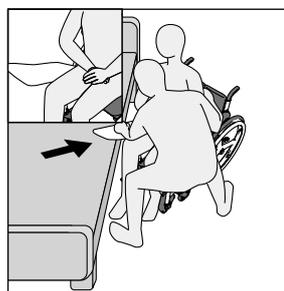
ベッドに移乗する場合は、クルマイスをベッド脇に付けて、駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキをかけます。  
ベッドとクルマイスの角度は30度ぐらいを目安にしてください。

【介助移乗】と【自立移乗】は、トランスファーボード(付属品)を使用することで容易になります。

### 介助移乗の場合



- ①ベッド側のアームサポートを縮め、ベッド側の足を一歩前に出して、反対側の足を引きます。



- ②お尻とクッションの間にボードを差し込みます。



- ③右肩と左腰に手を添え、ベッド側の足を軸足にしてボード上を滑らせます。



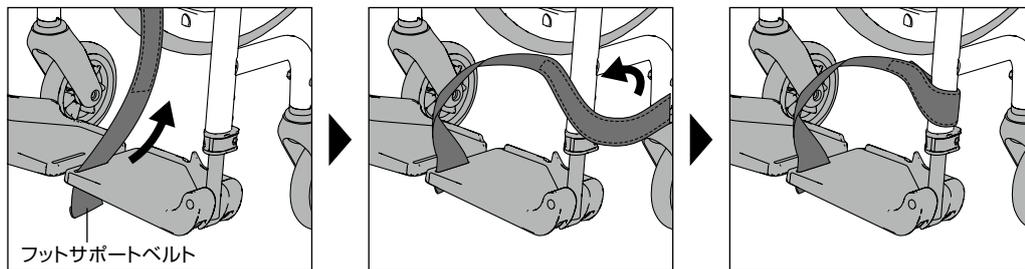
- ④ボードを引き抜き、クルマイス裏側のポケットに収納して完了です。

## 移乗方法

介助移乗で足が後ろに入り前方に転倒するおそれのある方には、フットサポートベルトを取り付けてください。  
【フットサポートベルト取り付け方法】



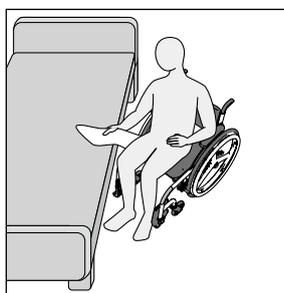
警告



フットサポートベルト

- ① フットレスト先端の穴にフットサポートベルトの面ファスナー側を裏から差し込みます。
- ② フレームへ巻き付け、面ファスナーで固定してください。

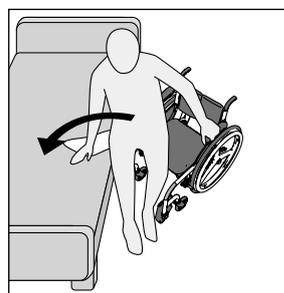
### 自立移乗の場合



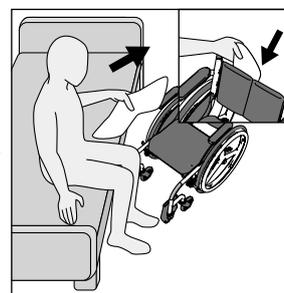
- ① お尻とクッションの間にボードを差し込みます。



- ② ベッド側のアームサポートを縮め、ベッド側の足を一歩前に出して、反対側の足を引きます。

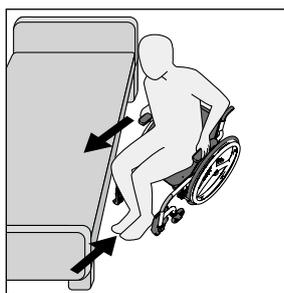


- ③ ベッド側の足を軸足にしてボード上を滑ります。

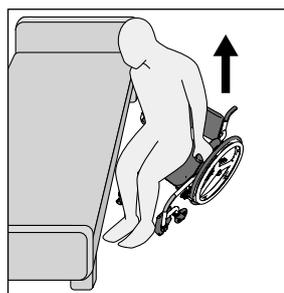


- ④ ボードを引き抜き、クルマイス裏側のポケットに収納して完了です。

### 立位移乗の場合



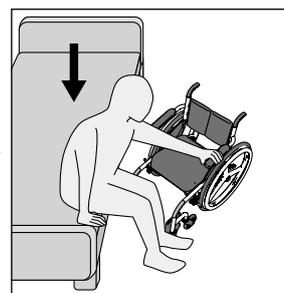
- ① 立ち上がりやすいように身体を前に出して足を引きます。



- ② アームサポートに体重を掛けて立ち上がります。



- ③ 身体の向きを変えます。



- ④ ベッド上にゆっくりと座って完了です。

※使用しないトランスファーボードは、背面のポケットに収納してください。



注意

- ① 移乗する場合は、両輪側とも駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキをロックしてください。
- ② トランスファーボードを使用する場合は、アームサポートを縮めてロックしてください。

## 運搬・保管方法

### 運搬方法

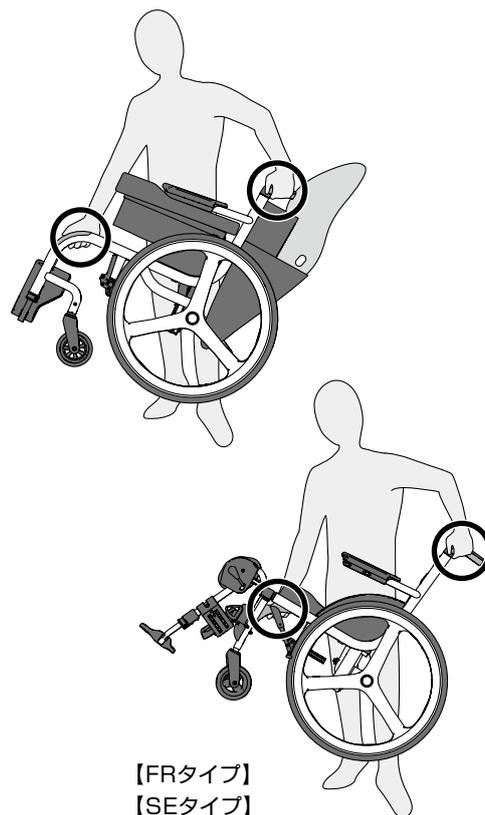
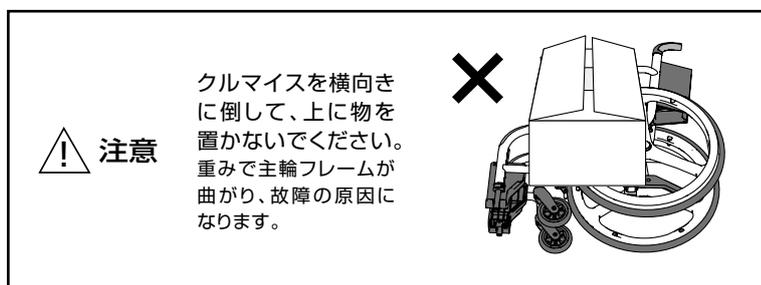
運搬する場合は、駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキをかけて、折りたたんで本体フレームと奥側のアームサポートを持って運んでください。

### 保管方法

折りたたんで保管する場合は、横向きにはせず、縦置きにて保管してください。

次のような場所では保管しないでください。故障の原因になります。

- ・ 雨に濡れる場所
- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ 湿気の多い場所
- ・ 高温になる場所(45℃以上)
- ・ 炎天下



## 廃棄方法

お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分・廃棄してください。  
地球環境のため、放置はしないでください。

## お手入れ方法

消毒する場合は、アルコール消毒剤などを柔らかい布に吹き付けてから清拭してください。

清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。仕上げに乾いた布で拭き取ってください。

クッションカバーは、カバーを取り外して家庭用洗剤で洗濯してください。漂白剤、柔軟剤は使用しないでください。

- 次亜塩素酸を使用する場合は、6%水溶液を100～200倍に希釈して清拭し、仕上げに水拭きしてください。
- 有機溶剤(シンナーやベンジンなど)、強酸性洗剤は使用しないでください。
- オゾン消毒は金属部分に影響を与えるため、使用しないでください。
- 60℃以上の温度を加えないでください。
- 金属ブラシ、ナイロンたわしなどはキズをつけるため、使用しないでください。



# 点検項目

下記の点検項目を確認してください。

異常があった場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

| 点検項目 |  | 確認                                     |           |
|------|--|--|-----------|
| 1    | <b>キャスト(前輪)の確認</b><br>・亀裂やキズはありませんか？<br>・摩耗していませんか？<br>・スムーズに回転しますか？<br>・スムーズに旋回しますか？  | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |
| 2    | <b>主輪(後輪)の確認</b><br>・亀裂やキズはありませんか？<br>・摩耗していませんか？<br>・スムーズに回転しますか？<br>・ホイールにキズなどありませんか？  | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |
| 3    | <b>ハンドリムの確認</b><br>・亀裂やキズはありませんか？  | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |
| 4    | <b>本体の確認</b><br>・ゆがみなどありませんか？<br>・ボルト・ナットの緩みはありませんか？<br>・スムーズに広げることができますか？<br>・座パイプが受けに収まっていますか？<br>・スムーズにたためますか？  | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |
| 5    | <b>駐車ブレーキ・立位駐車ブレーキの確認</b><br>・ブレーキは効きますか？<br>・レバー操作はスムーズに行えますか？<br>・ブレーキにガタつきはありませんか？  | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |
| 6    | <b>バックサポートの確認</b><br>・破れや破損はありませんか？<br>・面ファスナーが簡単に外れたりしませんか？   | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |
| 7    | <b>フットサポートの確認</b><br>・固定ボルトの緩みはありませんか？<br>・フットサポートの上げ下ろしはスムーズにできますか？<br>・フットサポートに破損や亀裂はありませんか？<br>・フットサポート部の角度調整がスムーズに上下し、任意位置でロックし、ロック解除で下がりますか？【SEタイプ】<br>・解除レバーでサポート部の取り外しができますか？<br>【FRタイプ】【SEタイプ】 | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |
| 8    | <b>アームサポートの確認</b><br>・ロックできますか？<br>・アームサポートに破損・亀裂はありませんか？  | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |
| 9    | <b>グリップの確認</b><br>・グリップに破損や亀裂はありませんか？  | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |
| 10   | <b>付属品の確認</b><br>・トランスファーボード(付属品)にひび割れなどの破損はありませんか？<br>・クッション、姿勢保持クッション(【SEタイプ】)に汚れ、損傷はありませんか？   | <b>YES</b><br><input type="checkbox"/> | <b>NO</b> |

## このようなときには

| 症 状                              | 確 認                                | 処 置                                   |
|----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 走行操作が重い                          | 主輪・キャストに髪の毛・ビニールなどが巻きついていませんか？     | 巻きついた異物を取り除いてください。                    |
|                                  | 駐車ブレーキ・立位駐車ブレーキをロックしていませんか？        | 駐車ブレーキ・立位駐車ブレーキを解除してください。(P7参照)       |
| 真っ直ぐ走らない                         | 路面が傾斜していませんか？                      | (株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。        |
|                                  | キャスト(前輪)が片減りしていませんか？               |                                       |
|                                  | タイヤ(後輪)が片減りしていませんか？                |                                       |
|                                  | キャスト(前輪)の回転に左右差がありませんか？            |                                       |
|                                  | キャスト(前輪)・タイヤ(後輪)の計4輪がきちんと接地していますか？ |                                       |
|                                  | 駐車ブレーキ・立位駐車ブレーキを片側のみロックしていませんか？    | 駐車ブレーキ・立位駐車ブレーキを解除してください。(P7参照)       |
| ブレーキが効かない                        | 駐車ブレーキ・立位駐車ブレーキがタイヤに当たっていますか？      | (株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。        |
|                                  | 駐車ブレーキ・立位駐車ブレーキがガタついていませんか？        |                                       |
|                                  | タイヤは摩耗していませんか？                     |                                       |
| 異音がる                             | 可動部分のサビ・汚れ・油切れなどによる摩擦音が出ていませんか？    | 給油してください。                             |
|                                  | ボルト類のゆるみにより、クルマイスがガタついていませんか？      | (株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。        |
|                                  | フレームがゆがんでいませんか？                    |                                       |
| クルマイスがたためない                      | フットサポートを跳ね上げていますか？                 | フットサポートを跳ね上げてください。                    |
| フットサポートの固定ができない                  | フットサポートの固定ボルトがゆるんでいませんか？           | クランプ固定ボルトの増し締めをしてください。(P2参照)          |
| 【SEタイプ】<br>フットサポート部の<br>角度が下がらない | ロックがかかっていませんか？                     | 解除レバーを引いてフットサポートを上向きに上げ、ロックを解除してください。 |

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、  
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口  
TEL(082)578-9226

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

ウィーリィ【メディカル仕様】は病院・施設専用の屋内向けクルマイスです。



- ①クルマイスのセッティングは、必ず医療従事者と相談の上、行ってください。
- ②故障または異常がある場合は、使用しないでください。  
事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ③本製品を改造しないでください  
改造によってクルマイスの部品の破損・脱落などで安全性が低下し、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ④フットサポートの上に乗って、立ち上がりたり乗り込んだりしないでください。  
クルマイスがバランスを崩し、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑤クルマイスのシートの上で立ち上がらないでください。
- ⑥階段・エスカレーター・段差のある場所などの悪路では使用しないでください。  
転倒や転落事故につながるおそれがあり、大変危険です。
- ⑦MRI室で使用しないでください。  
非磁性ではありません。磁気に反応するため、大変危険です。
- ⑧道路の通行では、必ず右側を通行してください。(歩道がある場合は歩道を通行してください)  
道路交通法規を守らない場合は、交通事故の原因になります。  
※クルマイスは道交法上、歩行者と定められています。
- ⑨坂道の登り下りの場合は、介助者が支えて行ってください。(P8参照)  
スピードが出たりバランスが不安定になり、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑩クルマイスに乗る／降りるおよび各部の調整設定は、両輪側とも駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキをかけて、平坦な場所で行ってください。  
(P2、P3、P4、P7参照)  
クルマイスが動き、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑪最大利用者体重を守ってください。  
最大利用者体重は100kgです。(積載物を含む)
- ⑫定期的に不具合がないか確認してください。  
各部のガタつきやネジのゆるみ、タイヤのすりへり、その他の不具合により、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ⑬利用者様の体調が著しく低下しているときは、十分注意して使用してください。
- ⑭クルマイスはバランスをくずして転倒する場合があります。利用者様・介助者とも、クルマイスが転倒しないように十分注意して使用してください。
- ⑮クルマイスを持ち上げる場合は、駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキをかけて本体フレームを持ち、支えてください。また、フレームを持つ場合は、はさまれないよう注意してください。(P8参照)  
アームサポート・フットサポート・バックサポート・フットサポート部【FRタイプ】【SEタイプ】を持たないでください。  
これらの箇所を持ち上げると、アームサポートやフットサポートなどがクルマイスから外れるなど、大変危険です。  
3人以上で持ち上げる場合は、本体フレームとティッピングレバーを持ってしっかりと支えてください。  
また、利用者様の身体の一部を持たないでください。
- ⑯本説明書に記載以外の使用はしないでください。
- ⑰踏台・脚立・手すり・歩行器のかわりに使用しないでください。
- ⑱子供に操作をさせないでください。
- ⑲二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- ⑳利用者様・介助者とも、クルマイス使用時には靴をはいてください。素足でクルマイスを使用しないでください。  
思わぬケガのおそれがあります。
- ㉑本製品の改良・改善により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。  
不明な事柄につきましては、お問い合わせください。
- ㉒坂道を前向きで下らないでください。  
利用者様が前方へズレたり転倒するなど、大変危険です。
- ㉓シート以外の部分に腰掛けしないでください。
- ㉔介助者は、絶対にクルマイスに乗って介助しないでください。
- ㉕急な坂道(勾配4度以上)では使用しないでください。
- ㉖グリップに寄りかかったり、歩行補助として使用しないでください。

## 注意事項

- ②⑦ 本説明書に記載されている調整、設定箇所以外の調整は行わないでください。また各部調整によっては部品が干渉する場合があります。確認して調整してください。  
事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ②⑧ 大きな段差を無理に乗り越えないでください。
- ②⑨ 発進するときや段差を乗り越えるときには、キャストのタイヤが真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。  
斜めに進入したり、キャストのタイヤが斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、キャストが破損して事故につながるおそれがあり大変危険です。
- ③⑩ クルマイスに座ったまま強い前傾姿勢をとらないでください。  
クルマイスに座ったまま前方の地面に置いてあるものを拾うなどの動作は、クルマイスごと転倒し大変危険です。
- ③⑪ 傾斜地・坂道での走行は特に注意してください。  
傾斜地や坂道ではクルマイスが予想外の方向に進んだり、スピードが出やすいなど大変危険です。また、クルマイスからずり落ちる、前へ倒れるなど、非常に不安定になり危険です。
- ③⑫ クルマイスの機能と操作をよく理解し、介助を行ってください。
- ③⑬ 部品に破損や損傷がある場合は、(株)モルテン健康用品事業部お客様窓口までご相談ください。
- ③⑭ 次のような場合は走行を避けてください。  
・夜間 ・雨天 ・濃霧 ・強風 ・積雪 ・凍結 ・その他危険が予想される場合  
夜間は側溝や障害物などが発見しにくくなり危険です。雨天は路面が滑りやすくなり危険です。
- ③⑮ 次のような場所では厳重な注意が必要です。  
・エレベーター ・クルマイス対応の福祉車両 ・その他危険が予想される場所  
介助者が付き添い、利用者様の身体を支えるなど注意しながら使用してください。
- ③⑯ スピードを出さないでください。  
スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やケガにつながるおそれがあります。
- ③⑰ 乗り降りする場合は、駐車ブレーキおよび立位駐車ブレーキのレバーに体重をかけないでください。  
レバーが破損・変形し、転倒するおそれがあります。
- ③⑱ 乗り降りする場合は、上げたフットサポートに足が当たらないよう注意してください。  
ケガをするおそれがあります。
- ③⑲ 介助移乗で足が後ろに入り前方に転倒するおそれのある方には、フットサポートベルトを取り付けてください。
- ④① フットサポート部を開いた状態で走行しないでください。  
事故やケガにつながるおそれがあります。
- ④② タイヤの摩耗に注意してください。  
タイヤが摩耗すると、ブレーキが効かなくなる場合があります。ブレーキの効き具合が悪いときは、(株)モルテン健康用品事業部お客様窓口までご相談ください。
- ④③ 走行中に駐車ブレーキおよび立位駐車ブレーキを使用しないでください。  
転倒などの事故につながるおそれがあります。
- ④④ 専用オプション品以外は取り付けしないでください。

### トランスファーボード(付属品)

- ① 本製品は、クルマイス・ベッド間などの移乗を補助するスライディングボードです。本来の目的以外に使用しないでください。  
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。
- ② 本製品を改造しないでください。  
破損や事故につながるおそれがあります。
- ③ 本製品には正しい向きがあります。裏表を間違えて使用しないでください。  
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。
- ④ 最大使用者体重は100kgです。耐荷重を超える状態では使用しないでください。  
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。
- ⑤ 必ず裏面の滑り止め部が車椅子のフレームや座面、ベッド上のマットレスなどにあたるように使用してください。  
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。
- ⑥ 破損やひび割れなどの異常がある場合は、使用しないでください。  
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。

ウィーリィ【メディカル仕様】は病院・施設専用の屋内向けクルマイスです。



- ① バックサポート・バックサポートパイプ・グリップなどに重いものを引っ掛けないでください。  
クルマイスが不安定になり、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ② クルマイスを広げたり折りたたんだりする場合は、座パイプの横や下に、手や指を入れないでください。  
パイプに手や指をはさんでケガをするおそれがあります。
- ③ タイヤを持ってクルマイスを操作しないでください。  
ブレーキに手が当たり、ケガをする原因になります。
- ④ スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。  
摩擦で、手にケガをするおそれがあります。
- ⑤ 走行中、身体を乗り出さないでください。  
バランスが不安定になり、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑥ 主輪に、体の一部や物を差し込まないでください。  
手や指をはさんで、ケガをする原因になります。
- ⑦ バックサポートパイプのみで、キャストを上げないでください。  
バックサポートパイプが曲がったり、折れるなどし、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑧ スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。  
利用者がクルマイスから転落し、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑨ 凸凹のある路面では、前かがみ姿勢で使用しないでください。  
バランスを崩し、前に転倒して事故の原因になります。
- ⑩ 火気の近くに置かないでください。  
シートが燃え火災の原因になります。
- ⑪ 利用者様の移動目的以外では、使用しないでください。(台車の代わりに使用しないでください)
- ⑫ クルマイスを広げた場合は、座パイプが受けに収まっているか、確認して座ってください。  
パイプが曲がったりしていると、事故や転倒および故障などによりケガをするおそれがあります。
- ⑬ フットサポートが固定されているか、確認して使用してください。  
フットサポートが脱落し事故の原因になります。
- ⑭ フットサポートの高さは地面より5cm以上で使用してください。  
路面の凹凸や障害物にフットサポートが引っ掛かり、急にクルマイスが止まり、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑮ アームサポートが固定されているか確認して使用してください。
- ⑯ 乗り降りや駐車は平坦な場所で行ってください。  
クルマイスが動いたりしてバランスを崩し、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ⑰ 乗り降りする場合は、必ずフットサポートを両方跳ね上げて、フットサポートパッドをたたみ、足部に当たらないように注意してください。  
フットサポート、パッドに足が当たりケガをするおそれがあります。  
※皮膚などが弱い方は靴下などを着用して保護してください。
- ⑱ 【SEタイプ】【FRタイプ】のフットサポート部の着脱、フットサポート跳ね上げ、フットサポートパッドの折りたたみの調整は介助者が行い、利用者様の脚部等を傷つけないよう十分注意して操作してください。
- ⑲ クルマイスの各部の調整、設定は可能ですが、設定の組み合わせにより部品が干渉する場合があります。確認して調整してください。
- ⑳ 坂道を下るとき介助者は、クルマイスを後ろ向きでゆっくり確認しながら走行してください。  
前向きで下ると、乗っている人がすり落ちたり、前のめりとなり、事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ㉑ 側溝の格子蓋にキャストが落ち込まないように注意してください。  
クルマイスが急に止まり、利用者様の体が前方に傾き、転落事故や転倒などによりケガをするおそれがあります。
- ㉒ 介助者は、移動中に利用者様のつま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。
- ㉓ 介助者は、フットサポートに利用者様の足が乗っているか確認して走行してください。
- ㉔ 面ファスナーに付いた糸くずや汚れを取り除いてください。  
接着力が弱くなり製品機能を損なうおそれがあります。
- ㉕ 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足をはさむなどして、ケガをするおそれがありますので十分注意してください。

## 注意事項

- ②⑥ 本製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取り扱いをしたり、落としたり、たたいたりなどの強い力や衝撃を与えないでください。  
本製品が破損するおそれがあります。
- ②⑦ 水にぬれたままにしておくと、本製品に錆びやカビが出るおそれがあります。  
ぬれた場合は乾いた布ですみやかに拭きとってください。
- ②⑧ 気温の差の激しい場所や異常に高温な場所(車中など)に本製品を放置しないでください。  
フレームが傷むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり、高温になったシートに座ることで体調に悪影響を与えるおそれがあります。
- ②⑨ クルマスを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。  
フレームが歪んだり、破損の原因になります。
- ③⑩ 急発進・急停車・急な方向転換をしないでください。
- ③⑪ 荷物などを持って、片手で走行しないでください。  
片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。
- ③⑫ 駐車ブレーキおよび立位駐車ブレーキのレバーは作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。  
ブレーキが変形・破損するおそれがあります。
- ③⑬ 下記のような場所にクルマيسや部品を放置しないでください。  
・車道に近い場所　・路面に段差や凹凸のある場所　・海沿いの屋外(潮風の当たる場所)　・ほこりの多い場所  
・非常口、消火器、消火栓の前　・直射日光の当たる場所(車内も含む)　・ストーブなど火気を使用し高温になる場所  
・子供がいたずらをするおそれのある場所　・人通りのある場所　・湿気が多い場所　・雨、風のあたる場所  
・坂道　・暑い日や寒い日の戸外
- ③⑭ 使用前には各部を点検してください。  
クルマيسは“動くもの”ですので、長時間の使用などにより劣化が生じます。使用前の点検を励行し、異常が見つかった場合は、ただちに使用を中止してください。
- ③⑮ 安定した姿勢で座ってください。  
座面深く左右にかたよらずに座ってください。また、介助者は、利用者様が安定した姿勢で座っていることを確認してください。
- ③⑯ 姿勢保持クッションを使用する場合は、主輪などにはさみ込まれないよう注意してください。
- ③⑰ 認知症の方が使用する場合は、必ず介助者が付き添ってください。  
クルマيسのシート、部品などを飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除される場合がありますので、十分注意してください。
- ③⑱ 駐車ブレーキおよび立位駐車ブレーキは必ず手で操作してください。  
足などで操作するとブレーキが破損するおそれがあります。
- ③⑲ 介助者は、利用者様がクルマيسに安全に座っていることを確認してから操作してください。  
利用者様の身体の一部または衣服がタイヤ・スポーク・キャストおよび地面・建物・通行者に触れたりはさまったりしないよう注意してください。
- ④① 靴を履かずにフットサポートに乗せて使用する場合は、十分注意してください。  
壁や柱で足をケガしたり、足がフットサポートから落ちて骨折するなど、大変危険です。
- ④② クルマيسの乗り降りや移乗などクルマيسが不安定になりやすい場合は、必ず2名以上の介助者が付き添ってください。
- ④③ 利用者様の心身の状況、症状を充分考慮し、適切な介助を行ってください。
- ④④ クルマيسをたたむ場合は、シートパイプを握らないでください。  
手をはさみ危険です。
- ④⑤ 操作中に異常な音や振動が発生した場合は、即時に使用を中止してください。  
事故やケガにつながるおそれがあります。
- ④⑥ 使用する前に主輪・キャスト・駐車ブレーキなどのネジを点検し、ゆるんでいる場合は、増しじめをしてください。
- ④⑦ フットサポートを足で上げる場合は、素足で行わないでください。  
ケガをするおそれがあります。
- ④⑧ フットサポートの下には足を入れないでください。  
足を地面でこすったり、フットサポートやキャストなどに足をぶつけてケガをするおそれがあります。
- ④⑨ フットサポートのすき間に手や足を入れないでください。  
ケガをするおそれがあります。
- ④⑩ シンナーやベンジンなどの溶剤は、使用しないでください。  
本製品を傷めるおそれがあります。

### トランスファーボード(付属品)

- ① クルマيسは両輪側とも駐車ブレーキまたは立位駐車ブレーキをかけ、動かないようにしてください。
- ② 必ず衣類などを着用して使用ください。  
直接皮膚が触れた状態でボードを移動するとケガのおそれがあります。

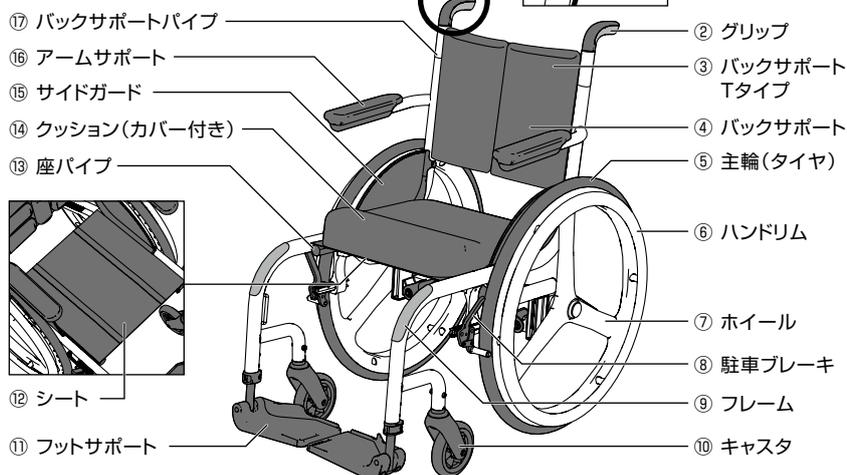
# 各部名称および梱包内容

以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。

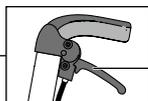
万が一、部品の不足・破損があった場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口にご連絡ください。

クルマイス：1台

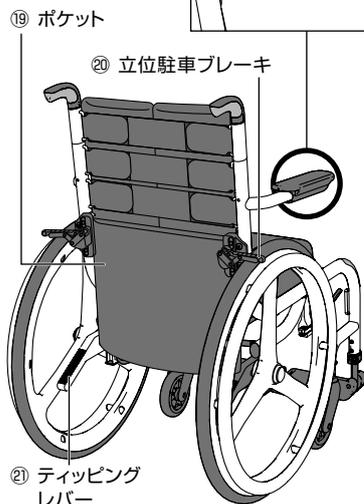
【Tタイプ・Tタイプ低床】



【介助ブレーキ付きの場合】



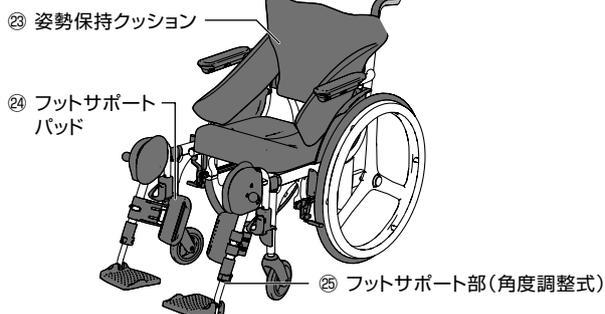
【背面】



【FRタイプ】



【SEタイプ】

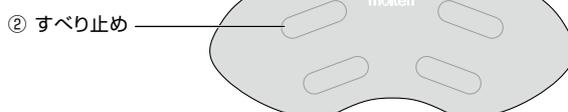


## 付属品

フットサポートベルト：2本  
※【SEタイプ】には付属しません。



トランスファーボード本体：1枚



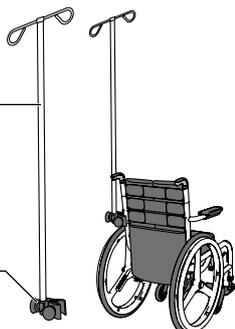
## オプション

詳しい使用方法は、各取扱説明書を参照してください。

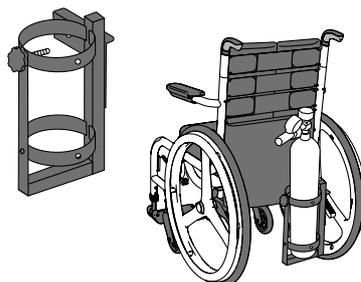
【ガートル棒】

① ガートル棒  
：1本

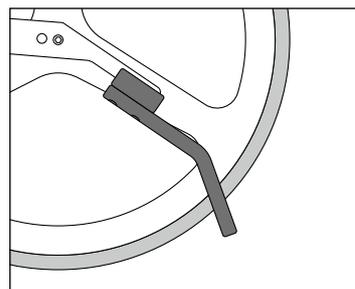
② ガートル台  
：1個



【酸素ボンベ架台】



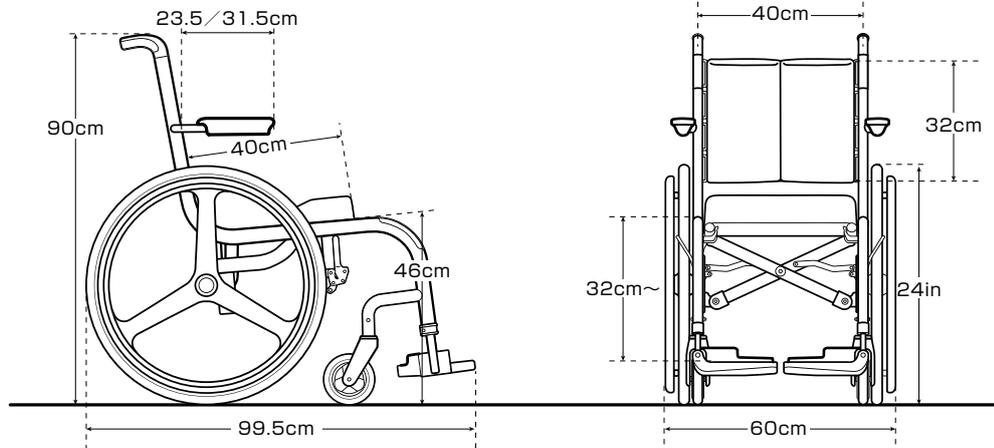
【転倒防止バー】



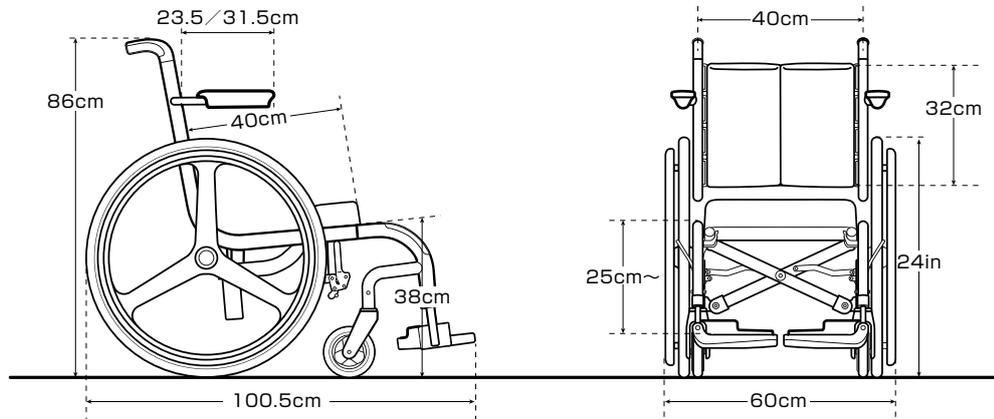
# 仕様

## ウィーリィ

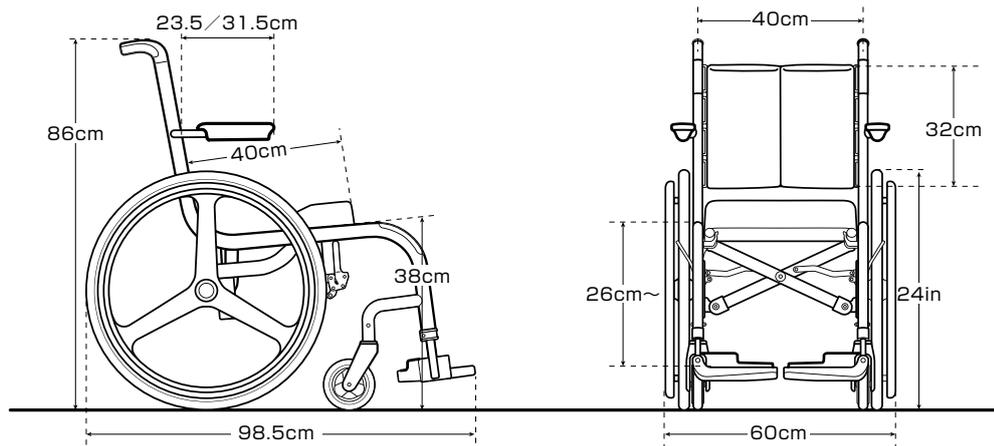
【Tタイプ】



【FRタイプ】



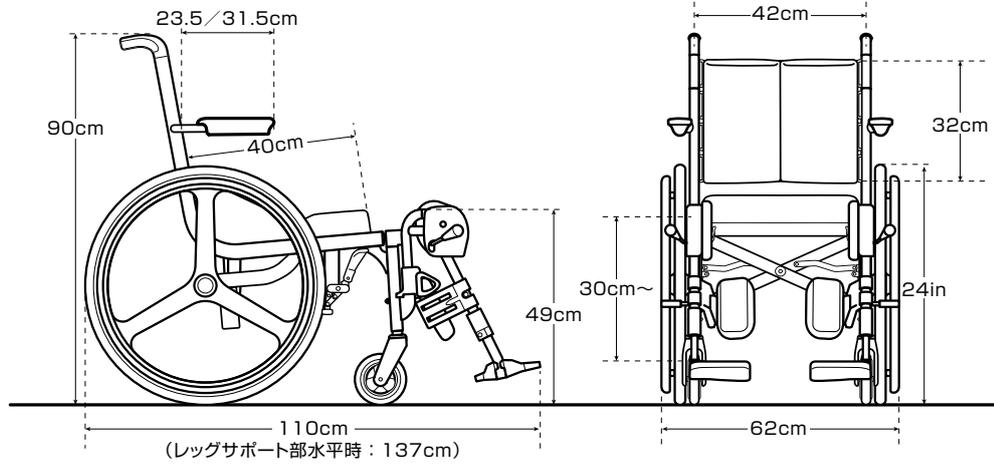
【Tタイプ低床】



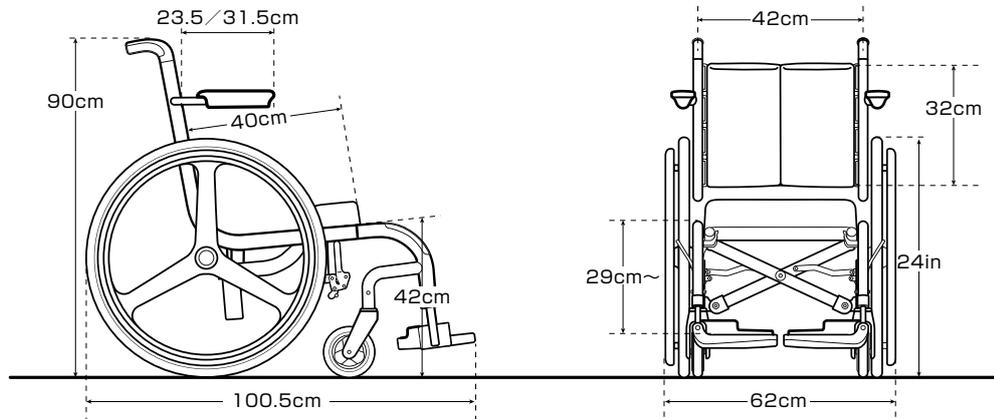
# 仕様

## ウィーリィ

【SEタイプ】



【FRタイプ(大柄な人向け)】



# 仕様

## ウィーリィ

| タイプ      |     | Tタイプ  | FRタイプ               | Tタイプ低床*             |
|----------|-----|---|---------------------|---------------------|
| 品番       |     | MWHE02  | MWHE03              | MWHE05              |
|          |     | MWHE02B2(介助ブレーキ付き)  | MWHE03B2(介助ブレーキ付き)  | MWHE05B2(介助ブレーキ付き)  |
| キャスト     | 仕様  | ノーパンクタイヤ  |                     |                     |
|          | サイズ | 5in   |                     |                     |
| タイヤ      | 仕様  | ノーパンクタイヤ  |                     |                     |
|          | サイズ | 24in  |                     |                     |
| 前座高      |     | 46cm  | 38cm                | 38cm                |
| 後座高      |     | 42.5cm  | 35cm                | 35cm                |
| シート幅     |     | 40cm  | 40cm                | 40cm                |
| シート奥行    |     | 40cm  | 40cm                | 40cm                |
| アームサポート高 |     | 27.5cm  | 26.5cm              | 26.5cm              |
| フットサポート高 |     | 32cm~   | 25cm~               | 26cm~               |
| バックサポート高 |     | 43cm  | 43cm                | 43cm                |
| サイズ      |     | 全長99.5×全高90×全幅60cm  | 全長100.5×全高86×全幅60cm | 全長98.5 ×全高86×全幅60cm |
| 折りたたみ幅   |     | 34cm  | 34cm                | 34cm                |
| 重量       |     | 15.7kg  | 15.7kg              | 16.4kg              |
| 素材       |     | フレーム：アルミ シート：軟質樹脂(補強仕様)<br>クッション・バックサポート：軟質樹脂 ハンドリム：ポリプロピレン |                     |                     |
| 最大使用者体重  |     | 100kg   |                     |                     |

| タイプ      |     | SEタイプ   | FRタイプ(大柄な人向け)       |
|----------|-----|---|---------------------|
| 品番       |     | MWHE06  | MWHE07              |
|          |     | MWHE06B2(介助ブレーキ付き)  | MWHE07B2(介助ブレーキ付き)  |
| キャスト     | 仕様  | ノーパンクタイヤ  |                     |
|          | サイズ | 5in   |                     |
| タイヤ      | 仕様  | ノーパンクタイヤ  |                     |
|          | サイズ | 24in  |                     |
| 前座高      |     | 42cm  | 42cm                |
| 後座高      |     | 40cm  | 40cm                |
| シート幅     |     | 38cm~42cm(姿勢保持クッション調整)                                      | 42cm                |
| シート奥行    |     | 40cm  | 40cm                |
| アームサポート高 |     | 26.5cm  | 26.5cm              |
| フットサポート高 |     | 30cm~   | 29cm~               |
| バックサポート高 |     | 44cm  | 44cm                |
| サイズ      |     | 全長110×全高90×全幅62cm   | 全長105.5×全高90×全幅62cm |
| 折りたたみ幅   |     | 34cm  | 34cm                |
| 重量       |     | 20.0kg  | 16.3kg              |
| 素材       |     | フレーム：アルミ シート：軟質樹脂(補強仕様)<br>クッション・バックサポート：軟質樹脂 ハンドリム：ポリプロピレン |                     |
| 最大使用者体重  |     | 100kg   |                     |

※2022年2月より、【Tタイプ底床】仕様変更

# 仕様

## トランスファーボード

- 素材：ポリプロピレン
- サイズ：幅30.0×長さ65.0×厚さ0.4cm
- 重量：0.42kg

## 姿勢保持クッション【SEタイプ】

- 素材：表皮=ポリエステル、インナー=ウレタンフォーム
- サイズ：高さ42×幅30×厚さ10cm
- 重量：0.70kg

## オプション

## ガートル棒

品番 MWHE-A01

- ガートル棒長さ：110cm
- 耐荷重：2kg

## 酸素ボンベ架台

φ100用 品番 MWHE-A20

- 内径：11cm
- 重量：1.5kg
- ボンベ収納部高さ：25cm
- 設置可能酸素ボンベ：外径11cm以下用

## 転倒防止バー

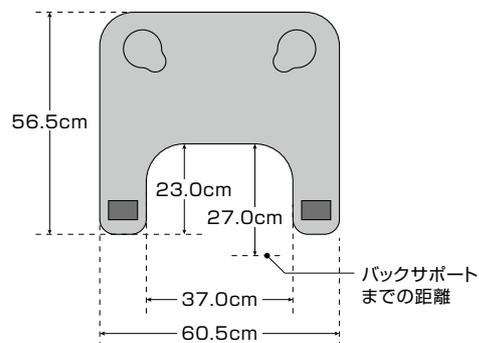
品番 MWHE-A30

- 長さ：29cm
- 重量：580g(1台分)

## 車いすテーブル

品番 MWHE-A05

- 素材：テーブル=ABS樹脂、ベルト=ポリプロピレン、固定ブラケット=アルミ
- サイズ：幅60.5×長さ56.5×厚さ3.5cm
- 重量：1.6kg



開発・製造元

ISO9001 認証取得

ISO13485 認証取得

※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、  
製造および付帯サービスにて取得

本製品の取扱説明書は下記QRコード  
からダウンロードいただけます。



取扱説明書

株式会社 **モルテン**

健康用品事業本部

[www.molten.co.jp/health](http://www.molten.co.jp/health)

東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21  
製品他、各種お問い合わせは

**TEL.082-578-9226**

E-mail:health@molten.co.jp

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日 / 9:00～17:00  
※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

2025.02